

市政を思い発言する会からお知らせ

発行：市政を思い発言する会

協賛（萌丘幼稚園、萌丘東園、いきいき萌丘）

市政を思い発言する会は、

**○子ども達 1 人に 3 万円の教育
支援**

**○お年寄り 1 人に 5 万円の生活
支援**

子ども達とお年寄りの幸せが、真岡市の発展に直結いたしますので、これらの実現に喜んで応援し協力いたします。

何故なら、子ども達が、真岡市の未来を築いてくれるからです。そのためには、子ども達に力を与え、思う存分活躍して頂くことです。それには、教育に充分なる予算をつけて、子ども達に投資することです。

市長は、あれもやっています。これもやっています。こんなにやっていますと答弁していますが、これらはすべて、どこの市でもやっているものやらねばならないものです。それをさすが真岡であると期待され夢のある

●保育園、幼稚園、小学校、中学校の子1人に3万円の教育支援を行って、子ども達に、学ぶ喜びを与え、生きる力を育て、真岡市の発展に日本の成長に尽力して頂き、市民のために貢献して頂くことであります。

加えて、お年寄りの皆さんは、電話も自動車もない時代から、お家のため真岡市のため、持てる力を発揮してくれて参りました。お蔭で、今日の生活があります。

その貢献に感謝しお礼をし、喜びを受けて頂いて、より良い真岡市実現にご尽力をお願いする生活支援することです。

市には、井頭温泉、ゲートボール、グランドゴルフ、いちごバス、高齢福祉等々のお年寄り向けの施策がありますが、お年寄りの皆さんが、真岡市に住んで本当に良かったと喜ばれる安心できる、生活支援のお金を予算化することが、今必要です。

特に今、お米や野菜が高騰しガソリンが上がって多くの市民が困っています。ここ25年間のデフレの中で起きた今回の物価高の生活苦を助けることが大切です。そこで

●お年寄り1人に、5万円の生活支援をすることです。そしてお年寄りに、喜びを与えて満足感にひたって頂いて、真岡市の発展にご尽力頂くことであります。

ささき重信の公約

子ども達とお年寄りの幸せは皆の幸せ～市的发展は建物ではありません、子ども達の教育や市民生活への投資です。小さい声の市民から大きな声の市民まで、どの市民にも行き届いた行政を優しく行うことです。即ち、子ども達に夢と希望を与え市民の皆さんに喜びと安心を与えることであります。

●**保育園、幼稚園、小学校、中学校の子 1 人に 3 万円の教育支援。**（東京都は高校生まで、1 人に月々 5,000 円の給付です。教育こそ大切であるとの小池都政の教育支援です。東京都に真似する訳ではありませんが、東京より真岡が素敵ですと云える市にしたいと、ふるさと真岡に戻って来た私ですので、私達は必ず実行いたします。）

●**お年寄り 1 人に 5 万円の生活支援。**（4 年前のコロナパンデミックのとき、先進市でも、市民 1 人に同じ 5 万円支給の公約がありました。今コロナは落ち着きましたが、お年寄りの努力があつて今日がありますので、より良い市政実現に尽力頂きたい生活支援いたします。子ども達や市内のお店でつかって頂ければ、なお良いことです。）

財源としては、石坂市長肝煎りのいちごサミットはコロナで流れてしまいましたが、これらの関連予算が約 2 億円です。掛け声だけの広告やイベントなどの一過性事業では、市の継続的发展になりません。私達は、これらの予算を基金に職員の能力を使って、強力に教育支援を行って子ども達に夢と希望を与え、お年寄りにお礼の志をあげて効率良く使つて頂きます。やる気になれば市長は出来るのです。私達は必ず実現いたします。

- 子ども達を核にするやさしい市政（子ども達への教育支援を市政の目玉にします）
- 市長でなく市民のための市政（市政は市長のためではありません市民のためです）
- 必ず後継者はつくります（必ず市民に寄り添う後継者をつくります）
- 副市長は職員から抜擢です（能力ある職員がいるはずです）
- 女性の積極的登用（部課長の 50% は女性にしたいです）
- 旧図書館の建物有効活用（貴重な建物ですので保存し学生、市民に開放します）
- プラネタリウムの有効活用（壊すのはもったいない、科学教育に活かします）
- 文化・歴史・産物・自然に誇りを（文化、歴史等に誇り無い市は衰退します）
- 二宮地区にインターチェンジ（まず、スマートインター 1 日も早く実現します）
- 優良企業の誘致（プロジェクトチームを組んで安定した優良企業を誘致します）
- 市民が主役に（石坂体制をチェンジし優しい市政にします）
- 財政の見直し（無駄をなくして健全財政に知恵を出します）
- 水道の見直し（水道料金が高いと云われるので、調査して見直しします）
- 真岡のシンボル創り（夢と希望の詰まった真岡のシンボルをつくります）
- 地元業者優先（寄付金などもらわず地元業者を育てます）
- 市民に優しい行政（市長に寄り添うのではなく市民に寄り添う行政をします）

真岡市を訪れて庁舎と隣の建物の立派さに驚いているお話を仄聞いたしますが、もう市の予算では、建物への投資は限界です。従いまして、立派に建設された石坂市政の実績と良いところを前向きに継承致しまして、如何に有効に活用し充実发展させるかが、私達にかせられた課題であること熟慮致しまして、実状精査し可能な限り生かしきって、真岡市的发展のため市民のために、ご奉公いたす決意であります。

そのため私達は、建物に関わった人も関らなかった人にも、全市民に平らにサービス提供することを最優先し、子ども達 1 人に 3 万円の教育支援し、お年より 1 人に 5 万円の生活支援を約束いたします。新年にあたりご挨拶申し上げます。